

令和5年度 はじめての人（入門レベル）のための日本語教室 報告書

1. 事業概要

(1)趣旨

堺市では外国人市民への日本語学習支援は民間のボランティア団体等により行われており、外国人市民17,079人（令和5年4月末現在）のうち、延べ327人（令和5年4月1日現在）が市内16か所の日本語教室で日本語を学習している。平成29年度堺市外国人市民意識調査では50.9%の人が日本語学習を必要としないと回答しているが、その方々を除いても3.9%ほどしか地域日本語教室に参加しておらず、その数は少ないと言わざるを得ない。

このような現状から外国人市民の孤立を防ぐためにも、外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして地域の日本語教室につなぐことが必要であると考え、平成25年度より市主催で「はじめての人（入門レベル）のための日本語教室」を実施し、本教室で学習を終えた外国人市民を地域の日本語教室につなぐ形で事業を実施している。

また、本教室で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援及び場面会話、対話型活動の方法は、地域日本語教室でも活用できる手法と考えられることから、本教室を市内で活動する日本語ボランティアの実践研修の場と位置づけ、市内日本語教室で活動するボランティアに、プロの日本語教師の授業にアシスタントとして参加する機会を提供し、これらを体験しながら学ぶことにより、その習得及び地域日本語教室での活用を促す。

(2)実施スケジュール

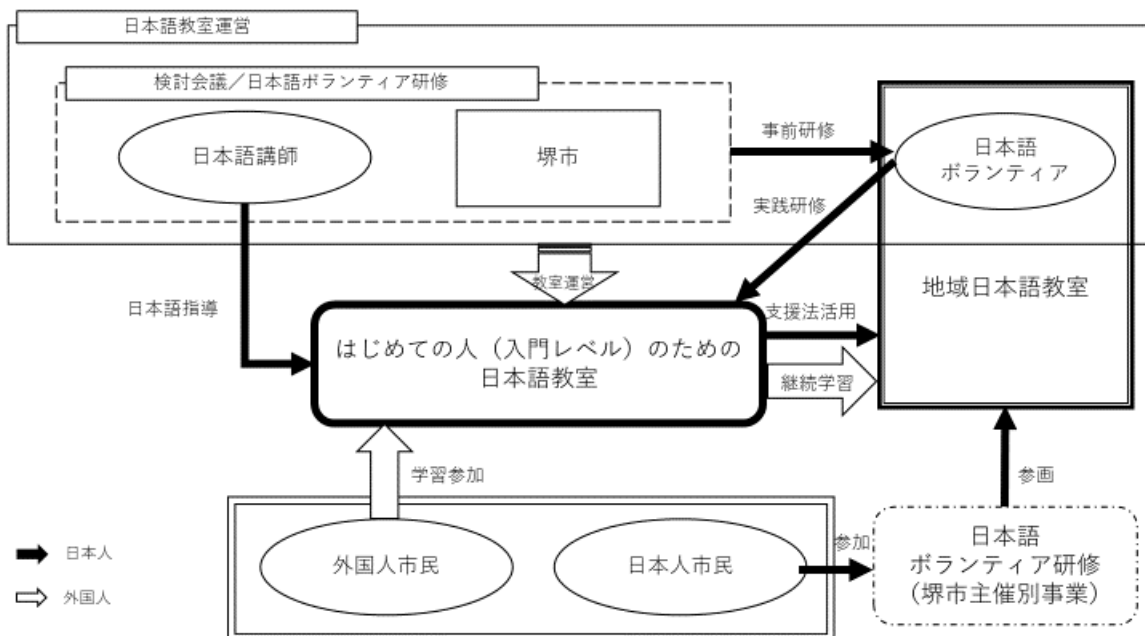
検討会議を開催して昨年度事業の振り返り及び今年度事業の実施方法等について検討し、検討結果をもとに日本語教室を実施した。また、日本語ボランティア実践研修参加者（アシスタント活動者）の増加及び本教室で使用している教材「つながるにほんご（本市作成）」を活用した学習支援法の普及を目的に「日本語ボランティア実践研修」に先駆けて、「日本語ボランティアスキルアップ研修」を実施した。すべての事業終了後に総括を行った。

<実施実績>

開催日時	項目	内容
8/7 10:00～12:00	検討会議 今年度事業実施方法の検討	1.実施方法検討 教室運営、授業進行、配付資料等
8/20 14:00～16:30	日本語ボランティアスキルアップ研修	1.「つながるにほんご」の使い方及びコンセプトの紹介 2.「つながるにほんご」を活用した対話型活動の方法など
9/5 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.「はじめての人（入門レベル）のための日本語教室」について 2.入門期の学習者との活動について 3.テキスト『さかい de にほんご』の構成及び使い方 4.アシスタント活動の概要
9/12 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.各活動の練習の流れと留意点 2.アシスタント活動の具体的な内容と留意点 3.「やさしい日本語」について 4.「ばめんのにほんご」ロールプレイの準備
9/22～11/17 火曜・金曜 14:00～16:00（全15回）	日本語教室	火曜日：「つながるにほんご」 金曜日：「ばめんのにほんご」 トピック会話

9/26~11/17 火曜・金曜 13:50~16:20 ※授業は 14:00 ~16:00 (全 14 回)	日本語ボランティア実践研修 「実践研修－授業参加－」	火曜日：「つながる日本語」 マスターテキストアプローチによる 教室型レッスンの補助、練習相手 金曜日(前半)：「ばめんのにほんご」 場面会話のロールプレイ、補助、及び 練習相手 金曜日(後半)：トピック会話 対話型活動の実践
12/4 10:00~12:00	総括会議	1.事業報告 2.事業振り返り 3.次年度に向けた検討

(3)事業スキーム



(4)事業運営体制と役割

<検討会議・日本語ボランティア実践研修運営メンバー>

役割	名前
アドバイザー	澤田 幸子 (合同会社 おおぞら日本語サポート)
講師	矢谷 久美子 (日本語教育支援グループ ことのは)
講師	正多 宏美 (一般財団法人 海外産業人材育成協会)
事務局	堺市文化観光局文化国際部国際課

<日本語教室運営メンバー>

役割	名前
アドバイザー	澤田 幸子 (合同会社 おおぞら日本語サポート)

講師	矢谷 久美子（日本語教育支援グループ ことのは）
講師	正多 宏美（一般財団法人 海外産業人材育成協会）
アシスタント	市内日本語教室で原則半年以上の経験を持ち、事前研修を受けた者（13人）
事務局	堺市文化観光局文化国際部国際課

2. 日本語教室について

入門レベルの日本語能力の人々が、地域の人たちとの人間関係を構築できるようになること、及び地域社会に踏み出せるようになることを目的に日本語教室を実施した。

(1)実施実績

<日本語教室>

開講日時：令和5年9月22日（金）～11月17日（金）

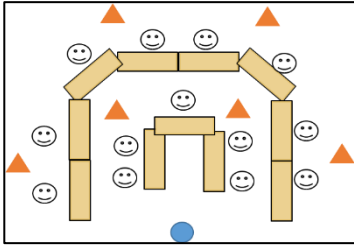
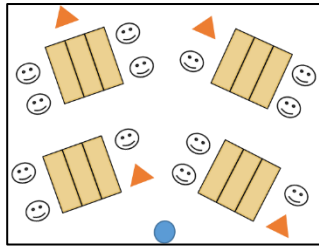
毎週火曜・金曜 14:00～16:00（全15回）

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい 会議室（大）

受講者数：17人（※国籍等詳細は、2.(2)受講者について参照）

授業内容：各曜日の内容は下記の通り

（※全体カリキュラムは、[資料](#)1.日本語教室カリキュラム 参照）

	火曜日	金曜日（前半）	金曜日（後半）
授業形態	教室型レッスン	グループ型レッスン	グループ型レッスン
	  <p>（凡例）● 講師【1人】 ▲アシスタント【火曜6人、金曜4人】 😊 受講者【17人】</p>		
テキスト	「つながるにほんご」 （堺市作成）	「ぼめんのにほんご」 （堺市作成）	テキストなし
テーマ	自己表現のための日本語 ～習得～ （マスターテキストアプローチ）	地域社会へ踏み出す ための日本語 （場面会話）	自己表現のための日本語 ～実践～ （トピック会話）
内容	各課の登場人物の語り文を理解して覚え、その語り文を自分に置き換えて話せるように練習する。同時に、語り文に出てくる文法事項を習得する。	「駅での会話」や「病院での会話」など、日常生活で出会う場面を使って会話練習を行う。また、最後に一人ずつロールプレイを行う。	学習者とアシスタントの混成グループになり、火曜日に学んだ内容と連動したテーマで日本語による交流を行う。

<その他行事>

イベント名：ごみの出し方講習会

実施日時：10月31日（火）

参加者数：12人

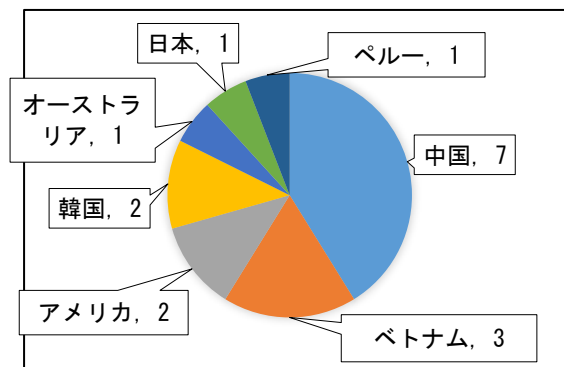
実施内容：通訳を入れて本市資源循環推進課職員による講習会を実施

(2)受講者について

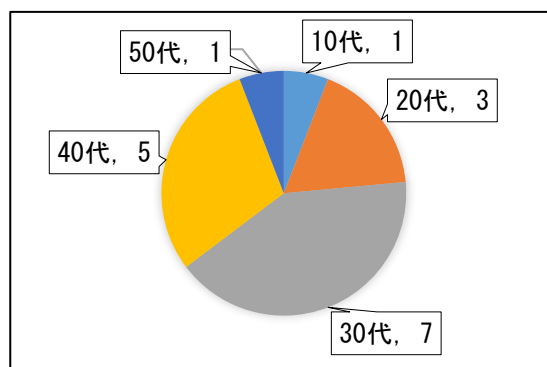
- 8カ国 18人の応募があり、7カ国 17人が参加した。
- 来日後、半年以内の人が半数以上おり、日本人の配偶者や日本語の話せる知り合いが代理で申し込むケースが多かった。また、職場や学校からの申込もあった。
- 最終継続者は15人で、うち11人が80%以上の出席率で修了した。

<内訳 (全 17 人) >

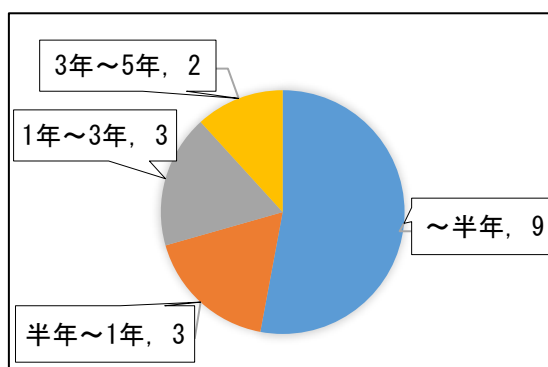
国籍



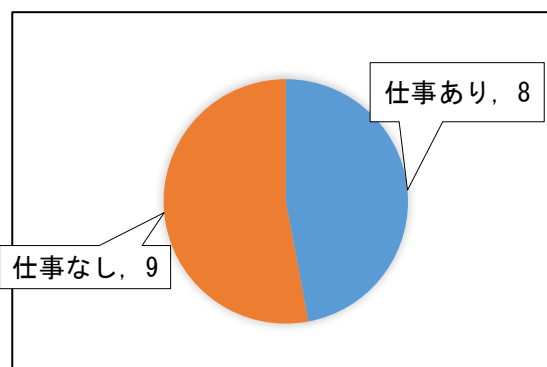
年代



滞日年数



仕事の有無



(3)学習者アンケートについて (※詳細は、[資料](#)2.受講者アンケート 参照)

- 初回アンケートには17人が回答した。多くの人が参加理由として「日常生活に必要」、「日本人と交流したい」と回答し、日本語を話せるようになったら、「毎日の生活」「町」「病院」「市役所」で話したいと回答した。
- 最終アンケートには13人が回答した。回答者全員が「参加してよかった」と回答し、その理由として多くの人が「楽しかった」「日本語が前よりわかるようになった」をあげた。また、「習った日本語を使って外で実際に話したか」には全員が「はい」と答え、9名が「この教室終了後、市内にある地域日本語教室に参加する」と答えた。

3. 日本語ボランティア実践研修

入門レベルの日本語能力の人々が学ぶ日本語教室を実践研修の場と位置づけ、入門期の日本語学習者に対する話し方や接し方、学習支援の方法を実践的に学ぶ機会とした。また、本教室の教材「つながるにほんご」で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援や「ばめんのにほんご」を活用した場面会話、対話型活動の方法を体験しながら学ぶことによって1対複数での日本語学習支援法を習得し、学習者の増加やボランティアの高齢化等でボランティア不足に悩む教室での活用を促すこともめざした。

(1)実施実績

開講日時：

<a. 事前研修>

令和5年9月5日(火)、令和5年9月12日(火) 14:00~16:30 (全2回)

<b. 実践研修-授業にアシスタントして従事->

令和5年9月26日(金)~令和5年11月17日(金)のうち、各人、毎週火曜・金曜のうち、指定された4~8日

13:50~16:20 (打ち合わせ・振り返りの時間を含む)

〔火曜日は6人程度、金曜日は4人程度が従事したが、原則として、金曜日の従事者は、同一週の火曜日に従事した者の中から4人程度を従事者として指定した〕

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい

受講者数：13人 (市内日本語教室等で活動している日本語ボランティア)

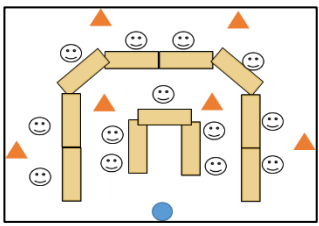
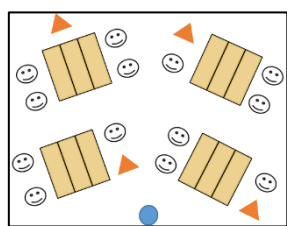

(2)研修内容

<a. 事前研修>

	内容
1回目	1. 「はじめての人 (入門レベル) のための日本語教室」について 2. 入門期の学習者との活動について 3. テキスト『さかい de にほんご』の構成及び使い方 4. アシスタント活動の概要
2回目	1. 各活動の練習の流れと留意点 2. アシスタント活動の具体的な内容と留意点 3. 「やさしい日本語」について 4. 「ばめんのにほんご」ロールプレイの準備

<b. 実践研修-授業にアシスタントとして従事->

- 1. 打ち合わせ (10分) その日の授業のポイントを確認
- 2. 授業参加 (2時間) 講師の指示を受けてアシスタント活動
- 3. 振り返り (20分)
 - 担当学習者の様子を全体で共有
 - 活動中の疑問点等を講師に質問
 - 引き継ぎシート記入

曜日	配置	内容
火曜日		<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の後ろに待機し、講師の指導法を観察しながら、入門期の学習者に対する話し方や接し方、マスターテキストアプローチによる学習支援法を学ぶ。 ・戸惑っている学習者の補助や学習者同士の練習の補助、練習相手をしながら、学習者のことばの習得過程を学ぶ。
金曜日 (前半)		<ul style="list-style-type: none"> ・場面会話の進め方や練習の仕方などを学ぶ。 ・グループ内で学習者の補助や練習相手をし、学習者にとって難しいことは何か、どうすれば分かりやすくなるのかなどについて学ぶ。
金曜日 (後半)		<ul style="list-style-type: none"> ・講師の決めたテーマに沿ってグループで交流を進めることにより、入門期の学習者との対話型活動の方法や留意点を学ぶ。

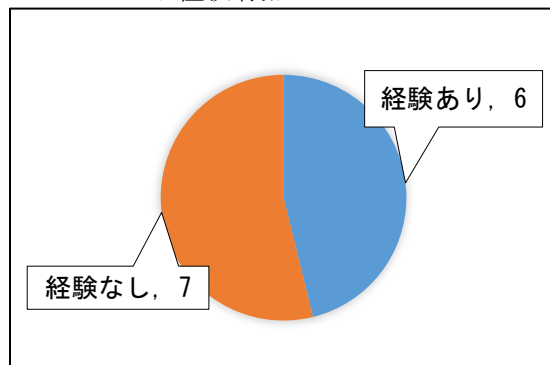
(凡例) ●講師【1人】 ▲アシスタント【火曜6人、金曜4人】 ☺学習者【13人】

(3)アシスタントについて

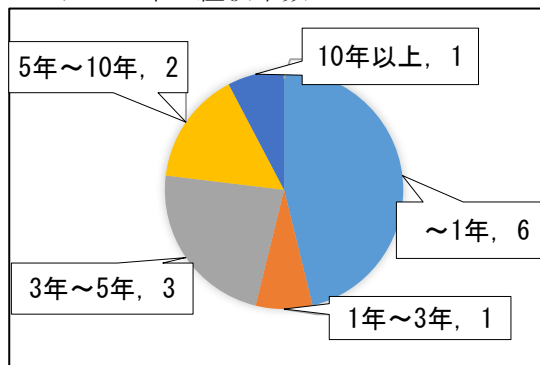
- 市内全 16 教室のうち 5 教室 13 人が参加した。
- 地域日本語教室で活動を始めて 1 年未満の方が半数近くを占めた。

<アシスタント内訳>

アシスタント経験有無



ボランティア経験年数



(4)アシスタントアンケートについて

(※詳細は、資料3.アシスタント最終アンケート 参照)

- 最終アンケートには 12 人が回答し、応募の動機として「入門期の学習者とのコミュニケーション法や活動のコツを学びたい」と多くの方が回答した。また、数としては少なかったが、「場面会話を学びたい」「対話型活動を学びたい」「グループ交流を学びたい」など具体的な活動について学びたいという回答もあった。
- 全員が「参加してとてもよかった」または「よかった」と回答し、理由として、「入門期の学習者との活動やコミュニケーションを学べた」とする声が複数あがった。また、採用している教材や活動について、参加したほぼ全員が「学習者にとって良かった」、「今後、自身の活動に活かせる」と回答した。
- 事業全体を通じた意見と感想として「日本語教室を知らない外国人に、公的な機関が日本語学習のきっかけを提供するのはとても良い」という意見もあった。

4. 成果と課題

(1)成果

- 昨年度課題としてあがっていた「アシスタント応募者が少ない」、「場面会話のロールプレイの意義がアシスタントに伝わっていない」という二点について、前者については、事前研修の時間を各回 30 分ずつ短くするとともに、昨年度まで参加要件としてきた火曜・金曜の連続参加を火曜日のみの参加でも可とし、参加者の負担の軽減を図った。7 人の新規アシスタントのうち 2 人が火曜日のみの参加者であったことから、負担の軽減が新たな参加者を呼び込むことにつながったと言える。また、後者については、事前研修において講師が実演などをしながら、ロールプレイのやり方やその意義をより詳しく伝え、授業の実践時においてもアドバイスを行った。アシスタントの最終アンケートでは、ロールプレイに対する否定的な意見は見られず、反対に「ロールプレイが学習者にとってイメージしやすい」といった声もあがっていたことから、その意義が伝わったと考える。
- Can do の活用について、昨年度より授業の始めにその日の Can do (目標) を教室全体で共有し、終了時にそれを振り返るとともに学習者に到達度を確認させるという流れで授業を実施している。目標の明確化により、教室に関わる全員が一つの目標の達成に向けて活動を進められるようになった点は既に昨年度成果としてあげたが、今年度は

さらに修了時の作文発表において、この教室で学んだ内容を振り返る学習者が数名いた。目標の明確化から到達度の確認という流れが、学習内容の記憶という点にも効果をもたらしたと考えられることから、来年度以降もこの流れを継続したい。

(2)課題

- 教材「つながるにほんご」の使い方や活動の狙い等にかかる学習者への説明について、本教材は、マスターテキストアプローチを採用しており、一般に広く使われている文型積み上げ式のアプローチとは練習方法やその狙いが異なる。今年度までは授業を受けながらそのやり方に慣れてもらうという方法をとってきたが、15回という短い回数の中で効果的に日本語を習得してもらうには、はじめから活動の狙いが分かり、それに組み組めることが望ましい。また、講師からも「学習者が「つながるにほんご」のやり方に慣れたところに日本語教室が終わってしまう」との意見もあった。来年度は、授業の初めに教材の使い方や活動の狙い等を伝えることを検討したい。
- トピック会話について、アシスタントの最終アンケートでは、回答者全員が「この活動が学習者にとってよかった」、「自身の活動に活かせる」と回答したが、同時に学習者とおしゃべりの方法を悩む声も聞かれた。トピック会話では、自己開示が大切であると伝えてきているが、地域の日本語教室では、文法を教えたりその練習をしたりすることが活動の中心になっていると考えられ、ボランティア自身が自己開示をすることや自分自身を表現することに不慣れであることも考えられる。トピック会話の具体的な方法に加えて自己開示や自分を表現するための研修を内容として入れることを検討したい。
- 火曜日の教室型レッスンでのアシスタント活動について、今年度は一定して学習者が多く、金曜日のグループ型レッスンのみならず火曜日の教室型レッスンもほぼ全員のアシスタントが1対複数で支援することとなった。しかし、多くのアシスタントが1対1で練習をしてしまい、それ以外の人を置き去りにしてしまう姿が見受けられた。1対複数での交流活動に加え、1対複数での練習方法についてもこの機会に学んでもらえるよう検討していきたい。

資料

1.日本語教室カリキュラム

	日にち	テーマ	Can do
1	9/22(金)	初日ガイダンスと簡単な自己紹介	—
2	9/26(火)	「つながるにほんご」 —1課 はじめまして—	・簡単な自己紹介ができる ・簡単に家族が紹介できる
3	9/29(金)	「ばめんのにほんご」 —今日は休みます—	・電話の相手呼び出してもらうことができる ・理由を言って、欠席の連絡ができる
		トピック会話 —わたしはこんな人—	・自己紹介。クラスメートに自分を知ってもらう
4	10/3(火)	「つながるにほんご」 —2課 目玉焼きが好きです—	・好きな食べ物、スポーツなどが言える
5	10/6(金)	「ばめんのにほんご」 —京都までいくらですか—	・行先までの値段や乗り場が聞ける ・乗る電車を確かめることができる
		トピック会話 —わたしの好きな物—	・スポーツ、音楽、アニメなどいろいろな分野で好きなものを話す
6	10/10(火)	「つながるにほんご」 —3課 毎朝、6時半に起きます—	・1日の生活を時間の流れに沿って言うことができる
7	10/13(金)	「ばめんのにほんご」 —これをください—	・売り場の場所が尋ねられる ・サイズや色の希望が言える ・店員のセールストークをうまく遮ることができる
		トピック会話 —わたしの1日—	・起きる時間や寝る時間、休みの日にする事など、身近な生活について話す
8	10/17(火)	「つながるにほんご」 —4課 友達と晩ご飯を食べました—	・簡単な感想が言える
9	10/20(金)	「ばめんのにほんご」 —ここに行きたいんですが—	・路上で行き先を伝え、道を尋ねることができる ・確認しながら相手の説明が聞ける
		トピック会話 —店—	・よく行く店、〇〇を買う店、食事に行く店などについて話す
10	10/24(火)	「つながるにほんご」 —5課 いっしょに見に行きませんか—	・誘いを受けて、時間や会う場所を決めることができる ・相手の申し出を辞退することができる
11	10/27(金)	「ばめんのにほんご」 —かばんを忘れたんですが—	・忘れ物を届け出ることができる ・物の特徴を簡単に説明することができる
		(交流会)	—
-	10/31(火)	ごみの出し方講習会 / 市施策及び市内日本語教室案内	
12	11/7(火)	「つながるにほんご」 —6課 買い物に行きました—	・場所の様子が描写できる ・物の特徴が言える
13	11/10(金)	「ばめんのにほんご」 —どうしましたか—	・受付で初診の手続きができる ・症状が簡単に説明できる
		トピック会話 —買い物—	・レシートを使って、買ったものや食べたものなどについて話す
14	11/14(火)	「つながるにほんご」 —7課 ベトナムに住んでいます—	・家族の仕事や性格、特技等が言える
15	11/17(金)	トピック会話 —家族—	・家族の写真やファミリーツリーを見ながら、家族について話す
		発表会・修了式	—

2.受講者アンケート

(1)初回アンケート (17 人分)

1. 「はじめての人 (入門レベル) のための日本語教室」をどのようにして知ったか

- 人から聞いた (14)

友だちから	家族から	学校の先生から	その他
2	4	4	4

(その他) ハローワーク(1)、会社(2)

- チラシを見た (6)

市役所・区役所	病院	教会	店	その他
2	0	0	0	5

(その他) 多文化交流プラザ・さかい (1)

- インターネットを見た (2)

堺市 HP	フェイスブック	その他
2	0	0

- その他 (1)

多文化交流プラザ・さかいを訪問時に案内を受けた

2. 日本語教室に参加した理由

日常生活に必要	仕事を見つけた	会社や学校で必要	家族や友達にすすめられた	日本人と交流したい	その他
16	5	4	1	10	0

3. 日本語が話せるようになったら、いつ・どこで・誰と話したいか

- 毎日の生活で (15)

家族と	近所の人と	その他
7	10	7

(その他) 子どもの先生(1)、仕事(1)、みんな(1)、会社の先輩(1)

- 町で (13)

人に道を尋ねるとき	買い物をするとき	電車・バスに乗るとき	その他
8	13	5	2

(その他) これから働く時(1)

- 会社で (7)

同僚と	上司と	その他
6	3	1

- (自分の) 学校で (4)

先生と	先輩と	友だちと	その他
4	1	2	0

- (子どもの) 学校で (5)

先生と	友だちと	その他
5	4	1

- 病院で (9)

- 市役所で (10)

住民票や証明書などをもらう時	子どもの保育所や学校の申込の時	健康保険や税金などの相談をする時	その他
8	5	8	1

- その他 (0)

(2)最終アンケート (13 人分)

1. 授業の回数 (15 回) はどうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった
2	11	0

2. 授業は、1 週間に 2 回だったが、どうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった	無回答
2 [4 回/1 w(1)]	9	1 [1 回/1w]	1

3. 火曜日と金曜日の午後 2 時～4 時は、参加しやすかったか

はい	いいえ
10	3

4. 授業に参加しやすい曜日と時間帯

平日午前	土曜日午前	日曜日午前
6 9h-(1),9:30h-11:30h(1), 10h-12h(2),10h-12h(火水)(1)	2 9h-(1)	3 9h-(1)
平日午後	土曜日午後	日曜日午後
8 (うち△1) 14h-16h(3),15h-17h(1), 16h-(1)	2 14h-16h(1)	3
平日夜	土曜日夜	日曜日夜
3	2	2

5. 「日本語教室」に参加してどうだったか

良かった	まあまあ良かった	悪かった
13	0	0

5 の答えの理由

楽しかった	友達ができた	日本人とたくさん話せた	授業の内容が良かった	日本語が前より分かるようになった
12	7	7	9	10
楽しくなかった	授業がよくわからなかった	もっとたくさん話したかった	授業の内容が良くなかった	その他
0	0	1	0	1

(その他) クラスメートともっと話したかった。

6. 教科書について

(1-1) 教科書「つながるにほんご」はどうだったか

やさしかった	少しやさしかった	ちょうどよかった	少し難しかった	難しかった
2	3	8	0	0

(1-2) 教科書「つながるにほんご」で、1回に勉強することばや文法は少なかったか、多かったか

少なかった	少し少なかった	ちょうどよかった	少し多かった	多かった
1	1	9	1	1

(2-1) 教科書「ばめんのにほんご」でどの場面が役に立つか(場面の順位づけ)

①今日は休みます	②京都までいくらですか	③これをください
1...3人、2...0人、3...1人 4...2人、5...4人、6...2人 (無回答...1人)	1...2人、2...3人、3...2人 4...1人、5...1人、6...3人 (無回答...1人)	1...5人、2...0人、3...3人 4...0人、5...1人、6...4人
④ここに行きたいんですが	⑤かばんを忘れたんですが	⑥どうしましたか。
1...0人、2...5人、3...2人 4...2人、5...2人、6...1人 (無回答...1人)	1...3人、2...1人、3...0人 4...3人、5...4人、6...1人 (無回答...1人)	1...1人、2...3人、3...4人 4...4人、5...0人、6...1人

(2-2) ①～⑥以外で、勉強したい場面があるか

タクシーに乗って行き先を言う	銀行でお金をおろす	市役所の受付で窓口を尋ねる	レストランで注文する
3	5	7	5
出前を頼む	美容院で髪を切る	その他	
4	5	3	

(その他) 通帳をつくる(1)、近所の人や友達との会話(1)、振込(1)、口座開設(1)、運転免許(1)

7. 日本語教室で勉強した日本語を使って、実際に日本人と話したか

はい	いいえ
13	0

はい → 誰とどのような場面で話したか

家族と	近所の人と	友達と	会社で同僚と	会社で上司と
6	3	4	4	2
子供の学校で先生と	欠席連絡をする時	電車・バスに乗る時	買い物をする時	人に道を尋ねる時
5	4	1	7	2
病院で	郵便局で	市役所で	その他	
3	3	2	1	

いいえ → その理由

機会がなかった	機会があったが、話せなかった	まだ自信がない	その他
0	0	1 ※(「はい」と回答だがチェックあり)	0

8. 今後、市内の日本語教室で勉強するか

はい	いいえ	無回答
9	3	1

⇒ (はい) どの教室で勉強するか

- 堺外国人日本語クラブ(2)
- とが交流会(2)

- 今と同じような教室があれば続けたい(1)
 - 月曜と水曜の教室(1)
 - 既に行っている(1)
 - 火曜日と金曜日に授業がある教室(1)
- ⇒ (いいえ・無回答) その理由
- 仕事が忙しい(1)
 - 行きたい時間に教室がない(1)
 - 考え中(1)
 - 用事がある(1)

9. その他、感想や意見

- 日本語教室がとても楽しかったです。クラスメートもフレンドリーで先生たちはとても温かく親切で、日本語を楽しく教えようと尽力してくださり感謝しています。これからは勉強を続けていくのでよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。(機械翻訳による)
- 次のレベルの教室もあればと思います。楽しかったです！ありがとうございます！
- とても感謝しています。たくさんの先生方が大切な時間を学生たちに費やしてくださったおかげで日本語をより楽しく勉強することができました。(機械翻訳による)
- どうもありがとうございました。
- 何から何まで本当にありがとうございました！(機械翻訳による)
- ありがとうございます。

3.アシスタント最終アンケート (12名分)

1. 所属日本語教室 (複数回答)

ふれあい日本語サロン	堺外国人日本語クラブ	にほんご堺東	とが交流会	チタチタ日本語教室
5	4	3	3	1

2. アシスタントに応募した動機 (複数回答)

募集を見て	所属教室で案内されて	経験者から聞いて	継続して学びたい	プロの日本語教師の授業を見たい
2	6	0	4	5
入門期の学習者とのコミュニケーション法や活動のコツを学びたい	場面会話を学びたい	対話型活動を学びたい	グループ交流を学びたい	その他
8	3	2	1	0

3. アシスタント活動について

(3-1)アシスタントとして参加してどうだったか

とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった
10	2	0	0	0

【評価の理由】

とてもよかった

- とても良い勉強になりました。とても楽しかったです。

- 専門家の指導法を学べる良い機会になるので。
- 『さかい de にほんご』の存在を知る事が出来た。初級レベルの学習者とのコミュニケーションのコツが少しわかった。
- 今まで是一对一での授業でしたが、グループでのレッスンだったので、学習者にしてみれば、慣れたらお互いの日本語会話のレベルが分かりプレッシャーが少なく、安心して発話が出来た事が良かったと思います。
- 成果のある学習法を体験できました。
- ボランティアを始めてまだ日が浅く、迷うことが多いです。実際のプロの学習の様子を見られたのがとても良かったです。
- 初めて日本語を学ぶ外国人に対するアプローチについて参考になりました。
- 今回は、特に意欲的な学習者が継続して多数参加する教室だったので、アシスタントとしてもとても有益になった。
- プロの先生の授業を見せていただき、とても勉強になりました。私自身、現在入門レベルの方の学習サポートをしていますので、授業の進め方や入門レベルの学習者との練習方法、またコミュニケーションの取り方など、たくさんを教えてくださいました。これから先生方の授業を参考に、自分でも学習者に合わせた方法を模索していきつつサポートを続けていければと思っています。学習者の方々だけでなく私自身教えていただいたことがたくさんあり、今回のアシスタントに参加して本当に良かったです。
- まだ活動歴が浅く、ボランティアに参加していきなり学習者と予備知識も無く即実践でした。また学習中は他の方の学習の様子を観察する余裕も無く自分の教え方がこれでいいのかと毎回自問自答する有様でした。責任者の方にお聞きしても「私もそうでした」とのことなので仕方ないかなと思っていました。またベテランのボランティアの方は生徒さんがすでに固定されており長年のお付き合いでほぼマンツーマンの状態です。ですから参加歴の浅いボランティアが毎回生徒が替わるので今回の研修は本当に助かりました。

よかった

- 学びたいと思っている人がいる限り、そのお手伝いができることは喜びです。
- いろいろなアプローチのやりかたがわかりました。

(3-2)この日本語教室は、皆さん（アシスタント）にとって、

①入門レベルの学習者への指導法や1対複数の支援法などを学ぶ場となったか

はい	いいえ
12	0

②他の日本語教室のボランティアとの情報交換の場となったか

はい	いいえ
8	4

③プロの日本語教師とのつながりの場となったか

はい	いいえ
11	1

(3-3)今後、所属されている教室の仲間や知り合いにアシスタント活動を勧めたいと思うか

はい	いいえ
11	1

【その理由】

はい

- いろいろな経験をした方が指導する側も必要。引き出しの多い方が外国の方にも、親切と思う。
- とても良い勉強になるし、国際交流の場になると思いますから。
- 指導法や情報収集の機会になる。
- 視野が広がると思います。
- 一対一でのレッスンは以前からしていましたが、グループレッスンはなかなかチャンスが無いので、良い経験になりましたから、「お勧めします。」
- プロの教授法やテキストの使い方を学べる。
- 教室ではペアになって学習しています。そのため、他の方の学習の進め方を見る機会がありません。アシスタント活動はボランティアをする上で吸収することがとても多いと思うからです。
- 初歩の学習者に対する教え方の参考になると思います。
- 固定メンバーで、ややマンネリ化する傾向があり、今回のようなアシスタント活動は、今後、学習者への指導力の向上に結びつきます。
- 私自身、たくさん教えていただいたので、他の日本語学習サポートをしている方々にとっても得るものが多いと思うからです。
- 機会があると所属する日本語教室でもボランティア歴の浅いボランティアの方に研修内容をお話ししていました。皆さん是非機会があれば参加したいとの希望でした。ですからもし出来るなら『ボランティア歴の浅い方から』研修に参加させてあげていただきたいです。私のような方が沢山いらっしやる感じがします。

いいえ

- 私自身がまだ新入りなのでおこがましい。

4. この日本語教室や教材、活動について

(4-1)この日本語教室は、入門レベルの学習者にとって地域や地域日本語教室に踏み出す前の段階として有効だと思うか

はい	いいえ
12	0

(4-2)「つながるにほんご」(火曜日の授業)について

①「つながるにほんご」の内容や進め方は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった
12	0	0

【その理由】

よかった

- 言い方のパターンが厳選されていて、実用化されやすいと思う。何度も繰り返されるので、記憶されやすい。
- わかりやすかったです。
- 絵を中心に進められ、多言語の資料もあり日本語学習のとっかかりになると思います。
- とても分かりやすいと思いました。
- 実用的な日本語だと思う。
- 今まで経験したことの無いレッスンの仕方なので、良かったと思います。
- 繰り返しのリスニングと発話が効果を生み、他の学習者の上達が刺激になる。
- 先生のジェスチャーと明るい雰囲気を進める授業で、学習者の方も本当に楽しそうに参加していたからです。
- 少し、スピードが速いように当初は考えていましたが、まじめな学習者は頑張ってきていました。
- 毎回、テーマを明確に示されていたので、分かりやすかったです。

- 丁寧な授業の進め方で、それぞれの学習者のレベルも考慮して席を考えるなど、とても細かい配慮もありました。そのおかげで各学習者の方々は不安に思ったり落ち込んだりすることなく、それぞれのスピードでレベルアップしていったと思います。また、何度も繰り返して練習をすることにより、学習者の自信にもつながり、また実際に使ってみることもできるようになったと思います。
- まず参加していただくのが一番ですし、話していただくのが最優先なので進め方としては最適だと思います。

②「つながるにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ
12	0

(4-3)「ばめんのにほんご」(金曜日前半の授業)について

①「ばめんのにほんご」の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった	参加していない
9	1	0	2

【評価の理由】

よかった

- 具体的な、すぐに使えるような例文が載っていて学習者の役に立つと思いましたから。
- 会話が実践的でした。
- 寸劇が分かりやすいと思う。実際に起こりそうな場面なので、良い。
- 場面の日本語のケースをもう少し多い方が、実際に多面的に使えるので良いと思います。
- 日本で生活する中で、必ず遭遇する場面にすぐに生かせると思いました。日本語で交渉する力になると思いました。
- 何度も、しつこいくらい繰り返すという教え方が、有効だと理解できました。
- 学習者に学んでほしい項目を強調されていて、よく理解できていたと思います。
- 場面の日本語をどのように使えばいいのか分からなかったのですが、実際には日常生活でよく使う表現が多く出てきて、大切に役立つ表現をピンポイントで使ってもらったり覚えてもらったりすることが必要だと分かりました。ロールプレイは学習者の方々にとってもイメージしやすく、実際に使ってみることもできるようになると思います。また、表現の幅を広げて、学習者の方々が自分で選んで表現する練習もとても大切に良かったと思いました。ジェスチャーや声色、顔の表情などで学習者の方々により伝わりやすいということを教えてくださいましたので、今後の活動にとっても参考になりました。
- 学習者同士の交流もありまたほかの学習者を見ることも非常に重要な機会だと思います。

どちらともいえない

- 多様な方がいるので、よいだろうと思って実施しているけれど、学習者にお尋ねしないと分からない。良かれと思ってアドバイスしても、混乱させてしまうこともあったので。

②「ばめんのにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうですか

はい	いいえ	参加していない
10	0	2

(4-4) トピック会話 (金曜日後半の授業) について

①トピック会話の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった	参加していない
10	0	0	2

【評価の理由】

よかった

- 話す、声に出すことは、結構勇気がいるので、少人数でも見られながら参加するのは、度胸がついてよい経験になると思う。
- とても良い練習になると思いますから。
- 内容がすぐに使えそうです
- イラストを見て発話するので、覚えやすい
- 沢山のケーススタディーを学習すると言う事では、ケースを増やしたら良いと思います。
- 火曜日の内容をどれだけ理解しているか、それを自身に置き換えて話せるかの確認ができると思いました。はじめの一言を日本語で話すことで、地域や職場の方々との交流が深まると思いました。
- 興味のあることに、何とか日本語で話そうと学習者が、お互いに助け合いながら話していました。
- 火曜日からの連動性があり、個人差はありましたが、学習者にとって、理解を深めることができたと思います。
- 自分のことを色々話すことが出来るというのは学習者の方々にとって自信につながると思います。今まで学習したことをトピック会話できちんと使っている学習者もいて、こんなふうに会話能力がアップするだけでなく、会話の幅が広がっていくことをアシスタントとしてもとても嬉しく思いました。テキストに書いてあることだけを練習するのではなく、もう少し応用して、学習者の方々がたくさん話せるチャンスを作ることがとても大切なのだと感じました。
- 皆さん積極的に参加出来る場で良かったと思います。

②トピック会話の活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	参加していない
10	0	2

5. 本教室で使用した教材（「つながるにほんご」「ばめんのにほんご」）の普及について
 (5-1)「つながるにほんご」と「ばめんのにほんご」を地域の日本語教室で活動する方に知ってもらい、活用してもらうためには、どんなことが必要だと思うか（複数回答）

広く受講者を募る	地域日本語教室に講師を派遣する	地域日本語教室から代表者 1～2 名集まってもらう	その他
7	4	5	2

【その他】

- このアシスタントにできる限り大勢のボランティアに経験してもらうことが一番かと思えます。
 - 単発でもいいですから、幅広く教室のボランティアに集まっていただき一日がかりで大まかな教材の使い方そして、ボランティア同士の交流会を開いていただきたいです。ほかの教室の進め方な困りごとを聞く機会も必要ではないかと思えます。
6. 事業全体を通して意見や感想等
- 日本語教室を知らずに過ごしている外国の方がいれば、広報や公的な機関がとっかかりを提供するためにはとても良いと思う。
 - とても楽しかった。

- 学ぶ良い機会になっています。ありがとうございます。
- たくさんの外国人の方が塚におられて、日本語を勉強したいと思っておられる事に驚いた。
- 年に一回の開催なので、複数回開催すると良いと思います。
- すべてはじめての経験で、先生はもちろん、学習者さんに私が教えてもらうことばかりでした。教室でも楽しい対話を心がけて、日本語を学ぶ1歩目のお手伝いできればと思います。
- 2年連続の参加で、貴重な体験になりました。主催者の皆様、どうも有難うございました。学習者やアシスタントの皆様の今後の上達が期待されます。またの機会を楽しみにしています。
- 今回は貴重な経験をするチャンスをいただき感謝しています。地域の日本語教室では、どのように教えていけばいいのか悩んでいる、どんなテキストを使えばいいのか分からない、質問したいが聞ける人がいない、もっと他のやり方があるのではないかと不安になるなど感じている人が多いのではないかと思います。そういう意味ではプロの先生に質問出来たり、他の日本語教室のボランティアの方々の経験などを聞くことが出来れば良いと思います。また、日本語教室のボランティアに興味がある人のための短期間講座がもう少しあるといいかもしれません。
- 今回研修でようやく下地が出来たように感じます。大変でしょうがこのような研修を年に二回開催されることを希望します。